

PRESS RELEASE

2019年11月20日

『長谷工グループCSR報告書 2019』発行

(株)長谷工コーポレーション（本社：東京都港区、社長：辻 範明）は、当社グループの2018年度におけるCSR活動をまとめた『長谷工グループCSR報告書 2019』を発行しました。

長谷工グループでは、企業としての社会的責任の遂行を重要な経営課題と捉え、2017年より組織的にCSR活動に取り組んでいます。2018年3月には「CSRビジョン」及び「CSR方針」を策定し、環境・社会との共存共栄を果たし、持続可能な社会を実現するための方向性を示すとともに、4つの取り組みテーマ（住んでいたい空間・働いていたい場所・大切にしたい風景・信頼される組織風土）を掲げ、関連するマテリアリティ（重要課題）とSDGs（国連による持続可能な開発目標）項目を特定しました。これら4つのテーマに沿った様々な取り組みは、年に1回『長谷工グループCSR報告書』にまとめ、発行およびホームページ上に公開しています。

今回発行した『長谷工グループCSR報告書 2019』では、トップメッセージにおいて「長谷工グループが描く未来」に言及し、その具体的な取り組みとして、価値創生部門^(※)におけるイノベーション活動を集めています。また、グループ社員一人ひとりが本報告書の内容を理解し、業務を通じて自発的にCSRに取り組むことを目指し、携帯しやすく、日々の顧客との対話で活用できるような本報告書のダイジェスト版「CSR HANDBOOK 2019」の制作も進めています。

今後も、社会課題解決と企業価値向上の両立を目指して、様々なCSR活動に取り組むとともに、ステークホルダーの皆さまへの積極的な情報開示に努めてまいります。

(※) 価値創生部門：ICT、IoT等先進的技術の活用やオープンイノベーションによる、新たな事業モデルの構築と既存事業の優位性向上を目的に2018年10月に新設。

【『長谷工グループCSR報告書 2019』概要】

[対象組織] 長谷工コーポレーション、子会社83社及び関連会社2社を対象

[対象期間] 2018年度（2018年4月～2019年3月）※一部対象期間外の情報も含む

[発行] 2019年11月

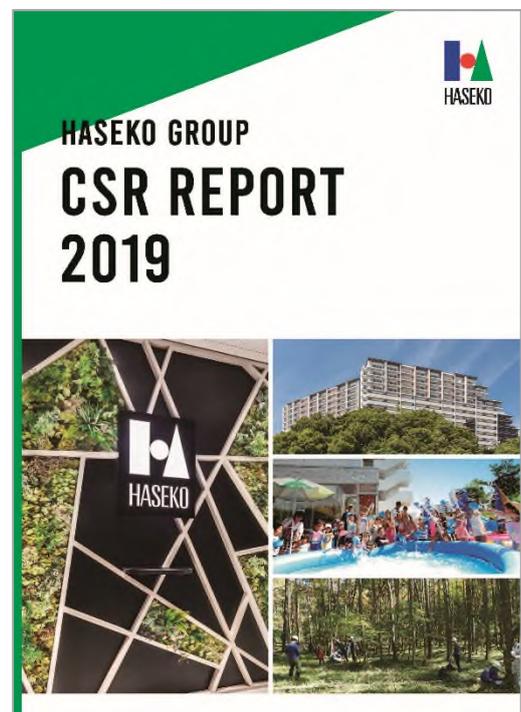
[形態] A4版75ページ 日本語（冊子・PDF）

[構成内容]

- 目次・編集方針
- 長谷工グループを知る
 - ・時代が求める、住まいの創造～集合住宅と長谷工のあゆみ～
 - ・データで見る長谷工グループ
- トップメッセージ
- 長谷工グループが描く未来
 - ・特集 探そう。挑もう。創っていこう。
 - 動き出した、長谷工の‘イノベーション活動’
- 長谷工グループのCSRマネジメント
- 4つのCSR取り組みテーマ 2018年度活動報告

[PDF版ダウンロードページ]

<https://www.haseko.co.jp/hc/csr/report.html>



【長谷エグループのCSRマネジメント】

長谷エグループ企業理念

都市と人間の最適な生活環境を創造し、社会に貢献する。

CSRビジョン

大切な暮らしを、もっと、ずっと。

私たちは、一人ひとりの暮らしに寄り添い、よりよい毎日を創っていきます。
未来を想うまちづくりに、人びとと共に挑戦していきます。

CSR方針

私たち長谷エグループは、CSR ビジョンの実現に向け、次の方針のもとに、CSR への取り組みを推進していきます。

1. 住まいと暮らしに関わる幅広い事業を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。
2. 環境や社会に配慮した事業プロセスの実現に向けた取り組みを、ステークホルダーと協働して推進します。
3. 生活者をはじめとする様々なステークホルダーの期待に応え、社会に新たな価値を生み出し続けていくために、グループ総合力を最大限に活かすマネジメントを強化します。
4. 企業活動のすべてにおいて、高い倫理観のもとに、法令遵守を徹底します。
5. CSR 取り組みの継続的な改善を図っていくとともに、情報開示を積極的に進め、組織としての透明性を高めます。

4つのCSR取り組みテーマ

住んでいたい 空間	様々なひとが安心して暮らし、成長し、それぞれのスタイルで生き活きと過ごす空間をつくっていきます。保育、教育、介護、福祉など、暮らしの質を上げていくための事業を推進していくとともに、さらなる安全・安心と環境配慮を暮らしのスタンダードにしていきます。
働いていたい 場所	多様な人々が活躍する、安全で生産性の高い職場をつくっていきます。住まいと暮らしに関わる技術とノウハウを備えた人材が、熱意溢れるチームワークの広がる職場で、協力会社とともに今と未来のまちづくりに挑戦していきます。
大切にしたい 風景	住まいをつくり、暮らしのサービスを提供するプロセスの環境配慮を推進します。生態系への影響に配慮し、資源・エネルギー効率の向上を追求し、協力会社とともに自然を大切にする現場・職場をつくっていきます。
信頼される 組織風土	ステークホルダーから信頼され、ともに価値を生み出すグループであり続けるために、組織として果たすべき取り組みを着実に実践していきます。また、グループの総合力を活かすマネジメントを強化し、住まいと暮らしの新たな社会・環境課題を的確にとらえ、事業を通じた社会貢献の領域を常に関拓していきます。